



# ガバナー月信

vol.08 Feb / 2026



## 月信2月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 米山学友会クリスマス会
- ③ 米山記念奨学生選考会
- ④ インターアクト献血奉仕活動
  - ・新潟北 RC
  - ・高田東 RC
- ⑤ 地区主要行事予定 (2月・3月)
- ⑥ 新入会員紹介・訃報
- ⑦ コーディネーターニュース
- ⑧ ハイライトよねやま

Rotary  **よいことの  
ために  
手を取りあおう**  
第2560地区

国際ロータリー第 2560 地区  
2025-26 年度

## 室賀ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574  
ホテルイタリア軒 B1  
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565





## ガバナーメッセージ

2025-26 年度ガバナー

**室賀 信宏** (白根 RC)

新年も1か月が過ぎ、今年は比較的雪も少なく今のところはほっとしておりますが、皆様のお住いのところはいかがでしょう？1月11日～15日の日程で、国際協議会がオランダウにて開催されました。新たなRI会長メッセージが発表され、富山ガバナーエレクトも次年度の準備を加速されておられていると思います。思い起こせば昨年は2月の中旬に国際協議会が開催され、PETSまでの期間が短く運営が大変だったことを思い出します。

1月17日に、当地区では新たな米山奨学生の選考会が開催されました。私にとっては3回目の選考委員でしたが、毎回選考には苦勞させられます。指定校推薦され応募された留学生は皆さん大変優秀で、米山奨学会が規定する基準で甲乙をつけなければならないのは、私にとって大変難しいことでもあります。今月は「平和構築と紛争予防月間」です。ロータリーファミリーである米山奨学生が、ロータリーについてよく理解をしてロータリーが希求している、世界平和に少しでも寄与していただければこんなに嬉しいことはありません。また、ロータリー財団は今年度、平和研究、持続可能な開発、紛争予防と紛争転換の分野の主要なプログラムを提供する九つの提携大学のいずれかで学ぶ平和フェローを、170名まで選出します。フェローは、1年間の専門能力開発修了証プログラムで高度な平和構築スキルを学ぶか、修士号プログラムで平和と開発に関連するさまざまな分野の修士号を取得できます。ロータリー平和センタープログラムが創設された2002年以来、1,800人以上フェローがプログラムを卒業し、政府、人道団体、教育・研究機関、国際組織（国連、世界銀行など）などでリーダーとして活躍しています。日本においてもICU(国際基督教大学)にあるロータリー平和センターでフェローたちが、平和について専門的な研究を行っております。

今月23日はロータリー創立記念日です。私たちロータリアンもこれを機に平和についてクラブで語り合うのもいいのではないのでしょうか？また、各クラブに置かれましては創立記念日をお祝いする行事などを企画されてはいかがでしょう？



## 第 2560 地区米山学友会主催 クリスマス会のご報告

学友会会長

バウベククズ ジャンサヤ

2025年12月20日、第2560地区米山奨学生学友会主催によるクリスマス会を開催いたしました。当日は、学友4名、現役奨学生10名、ロータリアン14名の計28名が参加し、世代や立場を越えた交流の場となりました。

会の前半では、和やかな雰囲気の中で食事を楽しみながら、ロータリアン、奨学生、学友が自由に語り合い、日頃なかなか持てない交流の時間を共有しました。続いて、新潟東ロータリークラブの上田様より腹話術をご披露いただき、会場は笑顔と笑い声に包まれました。巧みな話術と温かい演出により、参加者同士の距離が一層縮まったように感じられました。

その後、学友から近況報告を行い、米山奨学事業での学びが、それぞれの進路や社会活動にどのように活かされているかを共有する貴重な機会となりました。現役奨学生にとっても、将来像を具体的に思い描ききっかけになったのではないかと思います。

最後はプレゼント交換会を行い、終始和やかで心温まる雰囲気の中、会を締めくくることができました。本クリスマス会は、米山奨学事業が単なる支援にとどまらず、人と人とのつながりを育み続けていることを改めて実感する機会となりました。今後も学友会として、地区との絆を大切にしながら活動を続けてまいります。





## 2026 学年度 米山記念奨学生選考会

米山記念奨学委員会  
奨学生選考委員

中村 文彦 (新潟西 RC)

国際ロータリー第2560地区米山記念奨学委員会は、1月17日(土)、万代シルバーホテルにて2026学年度米山記念奨学生選考会を開催いたしました。室賀信宏ガバナーにも面接委員としてご参加いただき厳正かつ円滑な運営のもと選考が実施されました。また、高橋秀樹公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事にも視察でご参加いただきました。

本選考会に先立ち、書類選考を行いました。申込書の内容確認に加え、指導教員からの推薦状、研究内容、日本留学の目的などを総合的に読み込み、応募者それぞれの熱意や具体性、そして将来性について評価を行いました。書類から伝わってくる研究への真摯な姿勢や、日本で学ぶ意義をしっかりと言語化できているかどうか、重要な確認点となりました。

冒頭、茂岡奨学生選考委員長から、選考の進め方・当日の流れを確認した上で、厳正な審査を開始しました。

今年度は応募者42名(13大学)を対象に午前の部と午後の部に分け、5班に分かれた20名の面接委員によって個人面接を実施しました。評価は全34地区共通の選考基準に基づき、日本留学の目的や将来の目標、ロータリーへの関心度、人柄や人間性、異文化への理解、さらにはコミュニケーション能力などを多面的に確認しました。限られた時間の中で応募者の魅力を引き出し、人物像をできるだけ正確に把握するため、面接委員は丁寧な問いかけと真剣な聴き取りを重ねました。

その後にはグループディスカッションを行い、ここでは、単に意見を述べる力だけではなく、相手の話を受け止めながら対話を組み立てる姿勢、周囲への配慮、議論を前に進めるリーダーシップ、協調性、論理的思考力などを評価しました。個人面接とは異なる場面だからこそ見えてくる候補者の一面もあり、選考において重要な判断材料となりました。

最後に面接委員全員で合格選考会を行い、採用が1カ国に偏らないなど、地区裁量を含めた選考基準により奨学生を最終決定しました。その結果、16名の奨学生を選考し、2026学年度の奨学生は継続11名を加え27名となります。今回選考会で選ばれた学生はいずれも優秀で将来性が高く、米山奨学生として大いに期待されます。

今後は、この新規16名の奨学生の受け入れ先として選ばれたクラブに、世話クラブおよびカウンセラーの選出をお願いすることとなります。奨学生にとって、学業面の支援だけでなく、ロータリアンとの交流を通じて得られる経験は非常に貴重です。奉仕の精神や国際理解を肌で学び、学業だけで

は得られない知識や視野を広げる機会にもなります。

奨学生たちが将来、母国と日本との懸け橋となり、国際社会で活躍し、世界平和に寄与する人材として大きく成長されることを心より願っております。引き続き、ロータリアンの皆様の米山記念奨学生事業に対するご理解とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。





## 第28回クリスマス献血キャンペーン 「あなたに愛を・・・」

新潟北ロータリークラブ  
会長  
西條 盛昭

2025年12月21日（日）に、万代シテイ周辺で恒例のクリスマス献血キャンペーンを、新潟北ロータリークラブがホストクラブとして開催いたしました。その報告をさせていただきます。

このキャンペーンは、年末にかけて体調を崩される方が増えるのに、献血される方が減少するというので、新潟明訓高校、敬和学園高校、東京学館新潟高校、日本文理高校の新潟4校インターアクトクラブ合同委員会が主催となり、新潟市内7ロータリークラブと新潟県赤十字血液センター、万代シテイ商工連合会商店振興組合が共催という形で、毎年この時期に行われています。

今年もロータリークラブ会員、会員企業各社、万代シテイ商工連合会商店振興組合企業各社より協賛をいただきました。

また、例年ですと献血キャンペーンに併せて万代シテイ2階会場で、各学校の生徒や、ロータリアンによるコンサートを企画していましたが、ここ数年は天候悪化のためにコンサートが中止になる事が続いたので、今年はこの企画は行わないことにしました。当日参加いただいた方々全員に昼食と、参加いただいた学生さんにはクリスマスケーキをプレゼントいたしました。

献血キャンペーン当日の結果ですが、万代シテイバスセンター脇の献血バスでの献血人数は男性受付30名、献血27名、女性受付15名、献血13名の合計40名。万代献血ルームでは受付182名、献血172名でした。チラシ3,000枚を配布して、多くの方々から献血に協力していただき大変ありがとうございました。

最後に、献血キャンペーン開催にご協力いただきました新潟県赤十字血液センター様、万代シテイ商工連合会商店振興組合様、万代シルバーホテル様、新潟市内7ロータリークラブの皆様、4校インターアクトクラブ顧問の先生方、生徒の皆さんに感謝申し上げ、報告とさせていただきます。ありがとうございました。





## 今年度の IA 献血奉仕活動

高田東ロータリークラブ  
青少年奉仕委員長  
**椿 卓士**

去る令和7年12月21日(日)にイオン上越店様にて、上越高校 IAC・関根学園 IAC 高田 RAC と、高田東 RC 会員による献血呼びかけ活動が開催されました。

国内各地でインフルエンザの流行で献血者が減少しており、また冬は輸血用血液が不足する時期とされ、来店された方々に献血への協力を呼びかけました。

青少年が地域社会への奉仕活動を通して、リーダーシップ能力を伸ばせるよう支援する活動という青少年奉仕委員会の運営方針を実践すべく、12月の暮れも近く、大勢のお買い物客で賑わう店舗内で、上越高校 IAC14名、関根学園 IAC3名、高田 RAC2名、高田東 RC10名の参加者があり、無事に献血奉仕活動を行うことが出来ました。

今年は献血協力者の方々に、上越高校 IAC の生徒さん手作りの、高田城址公園で採集した松ぼっくりを使ったかわいいミニクリスマスツリーをプレゼントいたしました。

当日分の献血数は早い時間帯で達成しましたが、上越高校・関根学園インターアクトクラブの生徒さん達が、マスコットキャラクターの着ぐるみを身にまったり PR ボードを持ちながらチラシを配り、イオン上越店様に来店される方たちに向けて積極的に献血の必要性に関する呼びかけ運動を行っていただきました。

ロータリークラブ会員として、インターアクトクラブのみなさんの理解と情熱、ご参加あつての社会奉仕活動であると、改めて実感いたしました。



いーろ村 ー農荒生なはーれおでこめ現はて上

と言いが、反論ができる機関がない。消費者との協力関係を築くには情報発信が必要だ」といった意見が出た。伊藤助教は情報発信について「一水の管理コストは、関係者のボランティアで賄われて

いるケースが多いと思われるが、業者に委託すればいくらかかるかを可視化すべきだ。J Aには（消費者に）社会的な適正価格を提示することが求められる」と答えた。主催した「上越の農

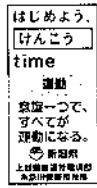
業・山村を考える会」の天明伸浩さんは「農業政策は政権が変わるたびに変更されるが、農業を取り巻く課題の解決は長い時間がかかる。政権が代わっても変わらない政策であってほしい」と話した。

## 輸血用血液不足 献血を

### 高田東ロータリークラブと高校生ら 30人体制で呼びかけ

高田東ロータリークラブ(RC)による献血呼びかけ活動が21日、上越市富岡のイオン上越店で行われた。国内各地でインフルエンザの流行で献血者が減少、輸血用血液が不足しているとされる中、

延滞儀一会長らが来店客らに献血への協力を呼びかけた。活動には高田ロータリークラブのメンバー(2人)のほか、上越高校生徒ら14人、関根学園高校生徒ら3人も参加。約30人が店内で



献血協力者に手作りのクリスマスツリーを手渡す高校生



高校生ら約30人が協力を呼びかけた (提供写真)

献血を呼びかけるチラシなどを配った。協力スツリーがプレゼントされた。延滞会長は「冬は輸血用血液が不足する時期。新潟市中央区でも同様の活動が行われている。呼びかけが少し

でも役に立てばと話していた。県赤十字血液センターによると、け、そのうち7人が献血したという。



第 2560 地区 2025-26 年度 12 月末 会員数報告

R C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2025年 7月1日	12月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	/	-	378	378	45	0
新発田	4	31.2%	90	93	2	3
村上	4	23.7%	38	38	8	0
水原	4	31.4%	34	34	2	0
中条	4	100.0%	48	48	3	0
新発田城南	4	25.6%	38	37	5	-1
豊栄	2	33.3%	21	19	2	-2
新発田中央	5	22.7%	44	44	5	0
中条胎内	3	51.3%	39	39	11	0
村上岩船	4	26.9%	26	26	7	0
第2分区(9クラブ)	/	-	453	474	38	21
新潟	4	34.6%	74	78	3	4
新潟東	3	17.3%	66	75	12	9
新潟南	4	38.3%	114	115	9	1
佐渡	2	66.7%	3	3	0	0
新潟西	4	62.5%	53	56	4	3
佐渡南	4	11.4%	43	44	4	1
新潟北	4	29.3%	37	41	1	4
新潟中央	3	36.0%	24	25	0	1
新潟万代	3	56.8%	39	37	5	-2
第3分区(5クラブ)	/	-	97	102	10	5
新津	4	56.3%	16	16	1	0
村松	4	61.9%	19	21	2	2
白根	3	29.4%	32	34	2	2
新津中央	4	38.5%	25	26	5	1
阿賀野川ライン	3	60.0%	5	5	0	0
第4分区(11クラブ)	/	-	343	341	33	-2
三条	4	17.9%	54	56	1	2
燕	3	15.0%	41	40	3	-1
加茂	3	14.8%	27	27	4	0
三条南	4	20.5%	38	39	3	1
分水	4	62.9%	33	35	6	2
見附	3	10.0%	20	19	1	-1
吉田	3	0.0%	23	22	3	-1
三条北	3	23.3%	46	43	4	-3
巻	3	9.1%	22	22	2	0
田上あじさい	4	16.7%	5	5	2	0
三条東	4	27.3%	34	33	4	-1

R C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2025年 7月1日	12月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	/	-	283	293	28	10
長岡	3	59.6%	43	47	5	4
柏崎	4	39.6%	45	48	0	3
長岡東	3	32.2%	57	59	7	2
柏崎東	3	19.5%	38	41	4	3
栃尾	4	47.4%	19	19	1	0
長岡西	3	26.2%	46	42	1	-4
柏崎中央	3	27.0%	35	37	10	2
第6分区(6クラブ)	/	-	117	120	14	3
十日町	3	26.3%	38	38	8	0
小千谷	3	17.9%	25	29	3	4
雪国魚沼	3	76.0%	25	24	2	-1
十日町北	2	0.0%	9	10	1	1
津南	4	36.4%	12	11	0	-1
越後魚沼	4	50.0%	8	8	0	0
第7分区(7クラブ)	/	-	305	317	23	12
高田	3	37.3%	63	67	3	4
直江津	3	32.1%	74	78	7	4
新井妙高	3	22.2%	36	36	1	0
糸魚川	3	95.7%	45	43	3	-2
高田東	4	50.0%	30	32	2	2
糸魚川中央	3	60.6%	30	34	3	4
越後春日山	3	82.1%	27	27	4	0

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,976 人
12月末会員数	2,025 人
女性会員数	191 人
純増減会員数	49 人
My Rotaryアカウント登録率	37.0 %

- ※ 7 月末会員数の訂正  
新潟南 RC 117 人 (うち女性 8 人) ⇒ 117 人 (うち女性 9 人)  
第 2560 地区 2,009 人 (うち女性 184 人) ⇒  
2,009 人 (うち女性 185 人)
- ※ 8 月末会員数の訂正  
新潟南 RC 117 人 (うち女性 8 人) ⇒ 117 人 (うち女性 9 人)  
第 2560 地区 2,016 人 (うち女性 185 人) ⇒  
2,016 人 (うち女性 186 人)
- ※ 9 月末会員数の訂正  
新潟南 RC 117 人 (うち女性 8 人) ⇒ 117 人 (うち女性 9 人)  
第 2560 地区 2,017 人 (うち女性 188 人) ⇒  
2,017 人 (うち女性 189 人)
- ※ 10 月末会員数の訂正  
新潟南 RC 115 人 (うち女性 8 人) ⇒ 115 人 (うち女性 9 人)  
第 2560 地区 2,024 人 (うち女性 187 人) ⇒  
2,024 人 (うち女性 188 人)
- ※ 11 月末会員数の訂正  
新潟南 RC 114 人 (うち女性 8 人) ⇒ 114 人 (うち女性 9 人)  
第 2560 地区 2,036 人 (うち女性 192 人) ⇒  
2,036 人 (うち女性 193 人)

地区主要行事予定

2026年1月20日現在

年	月	日	行事	会場	
2026年 (R8) 室賀年度	2月	平和構築と紛争予防月間			
		7	(土)	第2回派遣学生オリエンテーション オンライン	
		14	(土)	第2回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルオークラ新潟
	3月	水と衛生月間			
		4~5	(水~木)	ライラ研修	当間高原ホテルベルナティオ
		7	(土)	米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルイタリア軒
		14	(土)	ローターアクト地区大会	ホテルイタリア軒
		25~27	(水~金)	スキー国際交流体験会	妙高杉ノ原スキー場
		26~29	(木~日)	インターアクト国際交流事業	台湾
		28	(土)	富山年度 クラブ会長エレクトローニングセミナー (PELS) (旧:PETS)	南魚沼市民会館

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
柏崎中央	大川 仁	2025.11.11	便利屋 太助	代表	土木建築
新潟南	本多 正典	2025.12.03	(株)ホテルオークラ新潟	総支配人	ホテル
村松	荻野 直人	2025.12.09	はばたき信用組合五泉支店	支店長	金融
新潟西	竹内 洋	2025.12.11	(株)シンセンリフォーム	代表取締役社長	建設業
新潟東	宮森 俊彰	2025.12.12	ミツヤ不動産(株)	代表取締役	不動産売買
長岡西	佐々木 恵理子	2026.01.01	明治安田生命保険(相)	支部マネージャー	生命保険業
雪国魚沼	小杉 岳光	2026.01.01	(有)小杉自動車整備工場	代表取締役	自動車修理販売
越後春日山	齋藤 将彦	2026.01.01	(株)テレビ新潟放送網 上越支局	上越支局長	放送業
長岡	馬場 和之	2026.01.06	(株)NST新潟総合テレビ	長岡支社長	放送業
長岡	波田野 博章	2026.01.06	(株)丸久ユニフォーム	取締役	アーティスト
水原	渡邊 悦子	2026.01.07	阿賀野よろず相談法律事務所	弁護士	法律事務所
新井妙高	池田 裕章	2026.01.07	(株)アイケーテック	代表取締役	管工事
新井妙高	白倉 準	2026.01.07	MYOKO LAB.	代表	アパレル雑貨販売

【訃報】

ご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
新潟西	青池 秀夫	2025.12.17	(株)青池工務店	取締役会長	建築業	会長・第2分区ガバナー補佐・地区協議会実行委員長 他



## 「会員増強雑感」

### 第1地域 ロータリー会員増強コーディネーター(RMC) 田中 久夫 (高崎 RC)

会員増強・維持には1年のうちに不安な波が2回くる。そうだ、1度目は12月末、2度目は6月末だ。この原稿は1月初めに書いている。皆さんの地区の12月末の様子はどうなっているのかが心配だ。この波を上手に乗り切り後半戦を迎えられれば気分も上がって、さらに増強のヤル気が起きるだろう。反対に、波に揉まれて原点(年度初めの会員数)を下回ったりすれば気分はダダ下がり、後半戦は早くも消化試合の様相に陥っていく。

少し冷静になって考えると、①会員増強は「入会者>退会者」であり、②会員維持は「入会者=退会者」、③会員減少は「入会者<退会者」である。多くの地区では、入会者数は毎年度ほぼ同数であるという傾向がある(地区の会員数の約7~10%という統計がある)。これは、地区の会員が増強に必要性を感じて、毎年度必死に新会員を徴募しているからだ。一方、退会者が出そうだというときには余り関心を寄せていない。退会者を少なく出来れば①の結果が得られる、当たり前のことだ。

退会者にその理由を聞いたRIのアンケートがある。第1位は「経済的・時間の負担」約30%、第2位は「クラブの環境と文化に馴染めなかった」約23%、第3位は「期待に沿わなかった」約19%だ。退会者の70%以上がこの3つの理由に絞られる。だとすれば、この原因解消に努めよう！というのが我々ロータリー会員の使命となる。

退会理由第1位の解消方法は、「クラブの柔軟性」の活用だ。例会の形式、回数と出席の取り扱い、会員の種類と会費の金額の区別などを考えることだ。第2位の解消方法は、クラブ運営の根幹に係わる問題だ。クラブには、すべての会員が自分のペースで自分らしく参加できているか、会員の誰かがガマンを強いられていないか、皆がいまのクラブに満足しているか、といういわゆる「クラブの良質な居心地」「クラブへの帰属意識(Belonging)」があるかどうかに分かれ目になる。これを解消するには、クラブ・リーダーの強い意思とその重要性を理解した会員たちの協力が必要だ。ここに「会員増強・維持の絶対法則」がある。

それは、「温かい配慮(会員同士の寛容な気持ち)」×「心地よさ(皆からの認知)」=「会員増強・維持+帰属意識(Belonging)」の方程式である。

これを理解できない、いやこの原因解消の努力に足を引っ張る輩が居たら、そういう人には、女性初のRI会長だったJ.ジョーンズ氏の言った「雑草に水はやらなくていい。水は花を咲かせる植物にやるべきだ。雑草は抜くことだ」を実行することだ。

第3位は、ロータリーそのものへの批判である。ロータリーを理解できない人まで取り込むことはないさ、とつぶやくしかない。

紙幅の限界がきた。残りは、拙著『そうだったのか?! ロータリークラブ!!』(幻冬舎)に譲ります。





## 第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 大谷 新一郎（相模原南 RC）

第2地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐の大谷新一郎(2780地区・相模原南 RC)です。補佐として3年目になり大変充実した財団地域コーディネーターを経験させていただき、益々ロータリー財団の重要性を認識しております。



さて、昨年の11月17日にロータリー財団地域セミナーが34地区の地区財団委員長をはじめ200名を超える多数の会員の参加で開催されました。

セミナーはフランチェスコ・アレツォRI会長のあいさつの後、TRF管理委員長ホルガー・クナーク氏よりロータリー財団の現状報告とグローバル補助金や、大規模プログラム補助金による奉仕活動をマイクを片手に壇上から、私ども参加者に語り掛けるようにとても分かりやすく熱く講演されました。財団への寄付がいかに世界の平和・ポリオ根絶、そしてこれからの明るい未来を担う若い人々への教育に寄与しているかを講演されました。

その後第5セッションまで「会員増強につながったロータリー財団活動」のパネルディスカッション、そして伊藤RRFCによる「ロータリー財団の戦略行動計画」と題し34地区の寄付状況を数字で達成率を示し、6月までの今季目標に向かって更なる努力を参加者皆様に訴えられた。

さらにロータリー財団奨学生で2025年3月まで駒澤大学長の各務洋子氏やロータリー平和フェロー大豆本由紀氏による講演が行われた。

各務先生の「36年の時を超えて＜恩返しの喜び＞」と題しての講演は先生が30歳の時東京四谷ロータリークラブの財団奨学生として3歳の息子さんと2人で米国アリゾナ州立大学に留学され国際経営大学院修士課程での勉学でMIM（国際経営修士）を取得された経験を話されました。講演の副題として「国際ロータリー財団奨学生として得た人生の宝」を掲げられ、今の自分があるのはロータリークラブのおかげと、時々留学時の思いがよぎったのか涙を浮かべて話されていて、参加された会員の皆様も感動したのではないかと思います。

10:00～17:30のぎっしり中身の濃い充実したセミナーでした。



### 第3地域 台北国際大会推進チーム 大橋 秀典（東大阪東 RC）

2026年ロータリー国際大会に向けて、RI国際大会推進コーディネーターの出村知佳子さん(札幌北 RC)を中心に準備を進めています。

我々は日本から10,000人を目標としていますが、現在4,348名の登録を頂いています。あと、5,652名です。

日本は台湾に次いで世界第二位です。

10,000人を目指して皆様のご協力をよろしくお願いします。



#### ・主なプログラム

6月14日(日) 午前7時～ 圓山大飯店 12階にて親善朝食会。

開会式（午前・午後の2回）台北ドーム

6月15日・16日 全体会議(午前)

6月17日 閉会式(午後)

・国際大会では国際ロータリーが如何に国際的な組織であるかを再認識出来て、世界中のロータリー会員と友情を育む場所でもあります。

どうか、ご家族、クラブの仲間、地区の仲間にも声を掛けて、皆で国際大会を楽しみましょう！

#### ・日本チーム

国際大会推進コーディネーター 出村 知佳子(2510地区・札幌北 RC)

- 第一地域 岡村 睦美(2770地区・川口 RC)
- 第二地域 吉川 公章(2760地区・名古屋南 RC)
- 第三地域 大橋 秀典(2660地区・東大阪東 RC)

以上のメンバーで美味しい、楽しい、優しい、オモロイ、台北国際大会を目指しますので、皆様台北でお目にかかりましょう！



## 1 第6代 よねやま親善大使 カレ タオさん退任

昨年7月から第6代よねやま親善大使として活動してきたカレ タオさん(ベトナム/2023-25/旭川RC)が、個人の事情により母国に帰国することとなり、2025年12月をもって退任となりました。これまでの献身的な活動に、心より感謝申し上げます。

〈退任のメッセージ〉

この活動を通じて出会った多くの方々とのご縁や、各地でいただいた温かいご支援は、私にとってかけがえのない財産です。親善大使とし

て各地を訪問し、ロータリーの皆さまと直接お会いできたことは、日本の新たな一面を知る大切な機会となりました。米山奨学事業が人の思いと行動によって支えられていることを実感し、その理念は今後の人生においても私の指針となります。これからも一人の米山学友として、米山の精神を胸に、歩み続けてまいります。



## 2 ハラル料理体験で異文化交流

現在までに、米山奨学生の累計出身地は134の国と地域に及び、それぞれが異なる宗教や文化、価値観を持っています。今回は、米山奨学生とロータリー会員の相互理解を深める取り組みをご紹介します。

第2610地区富山RCの柴田智弘会員は、クラブ会員らと奨学生のカリド サナさん(パキスタン/2024-26)との会話中、ハラルは肉を食べてはいけない、ということではないか、と誤解をしていたそうです。そこで、「実際に体験してみよう」と、サナさんおすすめのバングラデシ



ハラル料理を囲んで一枚

ュ料理店で、本場のハラル料理を味わう企画が実現し、ビリヤニやタンドリーチキンなどが提供されました。実際のハラルについて話を聞き、宗教や社会への理

解を深める機会となりました。柴田会員はサナさんについて、学業や家庭について真摯に語る姿が印象的で、クラブ内でも「とてもまじめな奨学生」として親しまれていると話します。また、奨学生との関係を築く上で大切なこととして、「その国の文化や、相手が大切にしている価値観を尊重すること」を挙げられました。

## 3 寄付金速報 — 下期普通寄付のお願い —

前年同期比

-5.3%

普 -0.4% 特 -7.2%

12月までの寄付金は前年同期と比べて5.3%減(普通寄付金:0.4%減、特別寄付:7.2%減)、約4,500万円の減少となりま

した。当月は500万円の寄付を含む大口寄付が8件ありました。ご支援に厚く御礼申し上げます。1月13日に「2025年度下期普通寄付金のお願い」を各クラブへお送りしております。年初早々からのお願いとなりますが、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

第2750地区米山学友会 創立10周年記念式典  
「感謝の10年、飛躍の未来」  
開催のご案内

■開催日時: 7月26日(日) 13:00~16:30

■会場: アルカディア市ヶ谷 私学会館

※申込期限は7月10日(金)まで※

詳細はこちら



## 4 米山学友初の遺言寄付 — 次世代に託す「志」 —

米山学友として初めて遺言寄付を申請された  
林小 徽さん (1983-84/和歌山東RC) が 2024  
年 12 月 7 日、ご逝去されました。

関西米山学友会会長を務めた林さんは、会長  
在任中に台湾や韓国の学友会を訪問し、学友会  
の関係構築に尽力されました。また、当財団設  
立 50 周年記念式典のフォー  
ラムに登壇されるなど、  
幅広く活躍されました。



当財団では 2000 年度より「遺言寄付制度」を設け、  
事業の趣旨にご賛同くださる方々のご意思をお預

かりしています。林さんは 2009 年 1 月、「学友  
にもこのような制度があることを知ってほしい」  
との思いから、米山学友として初めて遺言寄付  
を申請。さらに 2017 年 3 月には 2 回目の申請  
を行い、当事業への変わらぬご支援の意思を示  
されました。林さんが逝去された後、ご家族は  
深い悲しみの中にありながらも、故人のご遺志  
を大切に守り、遺言寄付を実現されました。心  
より感謝申し上げます。

林さんが遺された志は、当事業を通じて次世  
代を支える大きな力となっていきます。ここに  
謹んで哀悼の意を表し、故人のご冥福をお祈り  
申し上げます。

## 5 台湾米山学友会 総会開催

12 月 6 日、台湾米山学友会の年次大会が台北  
市内で開催され、約 80 人が参加しました。

盧本文理事長 (1984-86/松原RC) の開会の  
挨拶で幕を開け、当会からは井原實副理事長が  
出席し、祝辞を述べました。同学友会は独自で

現地日本人奨学生を長く支援しており、出席し  
た奨学生の紹介が行われ、温かい拍手が送られ  
ました。また、前日 5 日に前夜祭、6 日午前  
に小旅行が開催され、多くの参加者が集いまし

## 6 ミンガラ奉仕デー 田中作次奨学生日本語カフェ開催

米山学友を中心に設立された  
ロータリークラブである東京  
米山ロータリーEクラブ 2750  
の活動の一つに、「田中作次奨  
学金」があります。これは、元  
国際ロータリー会長である田  
中作次氏の冠名奨学金として、  
ミャンマーの若者への教育支  
援を目的に 2017 年に始まり  
ました。ミャンマー米山学友  
会と連携し、学友自身が現地  
奨学生の選考を行っています。



12 月 21 日、東京米山ロータリーEクラブ 2750  
とミャンマー米山学友会による合同企画「第 13

回ミンガラ奉仕デー 田中作次  
奨学生日本語カフェ」がオンラ  
インで開催されました。今年  
度は、大規模な地震被害に見舞  
われた地域への支援も目的とし  
、同地域の学生 14 人を含む 22  
人が選抜。奨学金授与式も行  
われました。当日は「日本と  
ミャンマーの違い」をテーマに  
グループに分かれて交流。同  
クラブの長崎智香子会長は、「  
ミャンマーが厳しい情勢の中  
、開催できてうれしいです。  
日本語での交流を楽しんでほ  
しいです」と語りました。

### 海外米山学友会総会情報

◆タイ◆ 2月21日(土) 16:30~ Royal Naval Institute 開催

(参加申し込み先: n.pechnin@gmail.com)

★10周年

◆マレーシア◆ 3月14日(土)~15日(日) Millennia Village 開催

申込期限: 1月31日(土) (参加申し込み先: yoneyama.malaysia@gmail.com)

★10周年

◆スリランカ◆ 5月31日(日) 16:00~20:00 AMARI HOTEL 開催

申込期限: 2月28日(土) (問い合わせ先: yoneyamasrilanka@gmail.com)

マレーシア総会



スリランカ総会

